



自ら掴む経営エッセンス!

(記事: 渡部成夫 過去記事も読めます⇒<http://idoina.com>)

4/15(火)

テーマ: 『気づきで変える』

出席22社22名

(美浜19、他会3、非会員0)

講師: 松戸市倫理法人会 副会長 鈴木 拓雄 氏



Takuo Suzuki

色々な企業の経営を見てきた鈴木氏の講話は、事例も豊富で説得力がある。

経営者の‘ぼやき’

鈴木拓雄氏の会社は、松戸氏にある鈴木経営労務管理事務所。仕事柄、多くの経営者と話をする機会がある。最近よく聞こえてくるのは、経営者の‘ぼやき’だそうだ。

たとえば・・・

「同業がどんどんつぶれていくんだよね」
「何億あれば、会社を大きくできるのに」
「副業に手を出し過ぎて、資金繰りが苦しい」
「倒産するほどではないんだけど、赤字でね」
「求人募集してもなかなか来ない」などなど。

また、経営者の奥様からも、「結婚して以来、ほとんど主人と旅行したことがない」といった声がかんこえてくる。

さて、これらの‘ぼやき’は、一体どこから来ているのだろうか。

「もっと早く気づけば・・・」

鈴木氏は、こう分析する。経営がだめになった時というのは、病院で死を宣告された時の心境・状況と似ている。自分が病気になっているということに、手遅れになるまで気づかず、死を宣告されてどうしたら良いのかわからない。

こうしたお客様に対して鈴木氏は、「まず何を、いつまでにやる」というタイムスケジュール作りからお手伝いするのだそうだ。そして感じるのは、もっ

と早く気づいていれば、こんなことにはならなかったということだ。

「もっと早く気づけば」、そんな状況にならないために、セミナー等に出て勉強をしている経営者は、結構多い。それはわかる。しかし、「勉強してきた事を、御社ではどのように、はっきりとした方針として打ち出されていますか？」と鈴木氏が問うと、なかなか活かしきれしていないのが実情だ。

では、どんな点を意識して生きていくことが大切なのか。「私も自分に言い聞かせるつもりで、皆さんにお話しています」と、鈴木氏が教えてくれた。

やる人は、ぼやくより先にやってしまうもの。

ぼやいている人は、何もしていない人。やる人は、ぼやくより先にやってしまうもの。後で失敗談は色々出てくるが、それはきちんと決断をして、行動に移したからこそ出る、良い失敗なのだ。

そして、近年、過労死する人の数は減り、逆に自殺をする人の数が増えているという。この自殺者の中には、40代から60代の経営者が、結構含まれているらしい。ただ、人間は生きていくから大変なのだ。だから、自分はどのような生き方をしたら幸せなのか、会社も良くなるのか、常日頃から自分の生き方を大切にしたい。

たくさんの情報が溢れ、状況の変化、経済環境の変化が激しい時代だが、ちょっとした気づきの実践が、会社をうんと良くさせる。経営者に求められるのは、色々な勉強をして、良い情報・悪い情報、日々入ってくる色々な情報の取捨選択をし、そこで得た気づきから決断し、会社の具体的な方針に落とし込み、経営に生かしていく実践をすることだ。

では、良い実践とは何だろうか?どのようにしたら良いのだろうか?

鈴木氏の近所のお寺には、「子は親の背中を見て育つ」という言葉が書かれている。会社も同じだ。従業員は、社長の背中を見て育つ。良い実践の秘訣がここにある。鈴木氏はこう考える。「今の与えられた状況の中で、精一杯努力して、充実させていくのが経営者の努めであり、成功の秘訣です」。

次回 第874回MS! 4/22(火)6時~7時+朝食会 ホテルニューオータニ幕張(043-297-1777)

テーマ: 『昔話から学ぶ経営者の心得』 講師: 鎌ヶ谷市倫理法人会 会長 三森繁生 氏

できるできるやればできる!

明るく楽しくなければ倫理じゃない!

・会員120社・MS30名以上・美浜を美しく